

# 福祉のまちやはた

第17号

発行 令和4年2月1日  
発行責任者 会長 山口 俊郎  
事務局 鹿兒島市下荒田四丁目7番11号  
(八幡校区振興会公民館内)

## 八幡ふるさと音頭 振り付け動画を制作！ ～みんなで唄って踊り元気に～

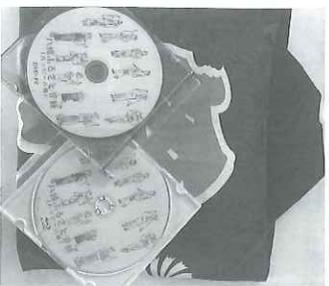
八幡校区社会福祉協議会ではこの2年、感染症の影響でこもりがちになってしまった校区の方々、特に高齢者の皆さんに楽しく元気に過ごしてもらおうと、八幡校区コミュニティ協議会制作の「八幡ふるさと音頭(ハッピー八幡)」の振り付け動画を制作しました。八幡ふるさと音頭は作詞をやはた作詞委員会が、作曲を宮之原せつみさんが行い、楽しく、覚えやすい音頭となっています。

今回の振り付け動画制作には、歌を横山真理さん、伴奏をよにんのめがね、振り付けを永田和子さんが担当、踊り手に八幡健康教室(永田和子さん主催)6人の皆さんが協力してくださいました。

動画は校区内の各団体・町内会・福祉関係事業所で活用していただき、広く八幡ふるさと音頭(ハッピー八幡)を知っていただき、いろいろなか場で唄い踊ってもらい、元気づくりや絆づくりの一つとしてご家庭や各グループで活用していただこうというものです。動画には通常の踊りに加え椅子に座った振り付けも収録されています。

DVD・ブルーレイでそれぞれ制作し、希望する団体へ配布することになっています。是非多くの皆さまに活用していただきたいと思います。

＜問合せ先：八幡校区社会福祉協議会事務局  
電話099-253-6666＞



### 「令和3年を振り返って～校区社協事業～」

八幡校区社協の令和3年度事業も、ご多分に洩れずコロナ感染症の影響を受けた。それぞれの事業は感染症のリスクを念頭に、実施の可否、内容を見直しながら取り組んできました。

◎「子育てサロン」は4月から開講、8月は“コロナ”が鹿兒島市内も増加したことを受け窓口対応したが他の月は開講している。

◎「介護講習会」は7月5日(月)に八幡校区振興会公民館で講師に健康運動指導士 中村 幸さんを迎え「介護予防について」のテーマで開催した。参加者は15名、検温・消毒・マスク着用・椅子の間隔を取り、換気に配慮し実施した。

◎八幡校区社協福祉委員会は研修会を8月5日(木)開催、講師を市社協地域福祉推進課の有馬光将主査に依頼、改めて「校区社会福祉協議会活動」について研修した。

◎「敬老の日・高齢者訪問」は八幡校区コミュニティ協議会との共催、町内会、八幡小の協力を得て9月敬老の日を中心に校区の80歳以上の高齢者570名に校区からの祝詞、八幡小児童のお祝いメッセージを添えてタオルを贈呈した(80歳・88歳・100歳の方にはコミュニティ協議会からお祝金等贈呈、80歳以上は687名)。

◎校区内高齢者クラブ7団体に助成金を支給。

◎「第18回八幡校区すこやかまつり」は11月20日(土)開催予定であったが“コロナ”の拡大状況を受け、実行委員・関係団体にアンケートを実施、協議した結果、中止した。

### 元気いっぱいみんな楽しく!!

「八幡子育てサロン・ぼっほクラブ」は子どもや子育て中の家庭の応援事業として毎月楽しく開講しています。

12月はクリスマス、13日(月)今年も少し早くサンタがやってきました。この日は、“歌と遊びのイラストラクター”高附恵子さんによるリズム体操などで楽しく遊んだ後、贈り物をたくさん持ったサンタが登場するとみんな大喜び、保護者も子どもと一緒に楽しい時間を過ごしました。参加者は子ども16人、保護者12人、民生委員などのボランティア7人でした。



### 「ふれあいグラウンドゴルフ大会」2年振り開催

恒例の世代間交流事業「ふれあいグラウンドゴルフ大会」が12月4日土曜日午後1時から、天保山中学校校庭で行われました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見送りましたが、今回、八幡小学校校庭が校舎建て替え工事のため使用できず、会場を天保山中学校に移して開催しました。小中学生13名、子どもたちの保護者・地域の愛好家27名が参加して行われました。

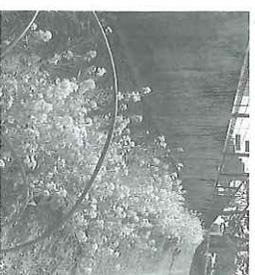


当日は好天に恵まれ小春日和の陽気の中、子どもたちは初めてのグラウンドゴルフで愛好家から手取り足取り指導を受けながらのプレーとなりました。ホールを回ることに要領をつかみ、うまくいくと歓声を上げるなどまた、地域の人達とも言葉をかわしながら和やかな雰囲気の中でゲームを楽しんでいました。

### 菜の花種まき作業に地域も参加して

天保山中学校の校庭には幾つもの花壇があり、季節ごとに色々な花が植えられています。毎年、花壇は色とりどりの美しい花を咲かせ、生徒や学校を訪れる方々を楽しませてくれています。

昨年11月13日(土)に中学校の環境整備作業が行われました。作業は校長先生・教職員・PTA事業員会の皆さんに地区の民生委員が加わり、体育館国道側の歩道に面した敷地の草取りと菜の花の種まきが行われました。参加した民生委員からは「春に菜の花の黄色が花壇一面を覆い尽くされることを楽しみにしている。」との声が聞かれました。



# 『住民の安心と安全を守る』鹿児島市消防団八幡分団』

令和4年を迎え新春恒例行事「消防出初式」が1月9日行われ、鹿児島市消防団八幡分団の精鋭も参加した。  
「出初式」は今や新春の風物詩となっており、消防関係者の仕事始め行事というだけでなく、地域住民へ消防隊の設備や技術を披露して安心してもらおうこと、また住民の火災予防の意識を高めてもらうための行事で、徒歩部隊や機動部隊行進、音楽隊演奏、消防演技、一斉放水、ふれあい消防フェスタ等実施されている。(今年は感染症拡大で規模を縮小して実施)  
私たちのまちの「消防団八幡分団」の活動については皆さん十分知っておられると思いますが、この機会に改めて紹介いたします。



## 消防団の役割

消防団は、消防本部や消防署と同様、消防組織法に基づき、それぞれの市町村に設置される消防機関です。地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、それぞれ自分の仕事もちながら住民の安心と安全を守るという重要な役割を担います。消火活動のみならず、地震や風水害等多数の動員を必要とする大規模災害時の救助救出活動、避難誘導、災害防衛活動など非常に重要な役割を果たしています。さらに、平常時においても、住民への防火指導、巡回広報、特別警戒、応急手当指導等、地域に密着した活動を展開しており、地域における消防力・防災力の向上、地域コミュニティへの活性化に大きな役割を果たしています。

## 消防団八幡分団の歩み



終戦直後の昭和22年4月に「消防団令」が交付され、戦前組織されていた「警防団」が「消防団」に改称され、昭和23年8月「自治体消防団」として「鹿児島市消防団」が組織された。この時、戦前からあった八幡地区の消防組織が「八幡分団」として組織されたと思われます。(市消防局にも正式な記録が残っており詳細は不明)  
八幡校区振興会創立50年史「自治の精神を貫いて」の「第Ⅱ部八幡校区振興会の歩み・第一期草創期(1960～1969)(1)消防後援会と消防車購入」で、八幡分団の消防車購入について次のように記されています。

「昭和30年代になると八幡校区は急激な人口増で、約4,500世帯、人口16,000人の住宅地になっていました。住宅が密集すると、火事、水害、台風などの災害発生への不安とその防止、救助活動を求める声が大きくなります。校区に戦前から組織されていた八幡消防分団の強化が必要でした。」

昭和32年3月～中略～「消防後援会」が発足しました。後援会が真っ先に取り組んだのが消防自動車の購入でした。車種は当時最も優秀な性能を有したニッサンジュニア消防自動車、価格も当時としては大変高価な160万円でした。後援会は借り入れを行い住民の募金協力などで2年余で返済するという当時としてはとてつもない大事業をやり遂げています。

この消防自動車は「やはた号」と名付けられ、後の荒田八幡近くの火災や日大一荘裏の大火などに出動して、その高性能ぶりと威力を市民の目に焼き付けたのです。」

現在八幡分団は高田忠一分団長以下15名の団員で組織され、下荒田一丁目の八幡分団舎に消防車が配置され活動しています。

## 鹿児島市消防団八幡分団員



分団長	高田 忠一	団員	安富 智春
副分団長	上宇都 純明	団員	富 優友
部 長	川 畑 義雄	団員	笠 毛 敬太
班 長	笠 毛 寛大	団員	國 分 隆久
班 長	永 田 泰彦	団員	上 園 祐紀
機 関 長	磯 部 正昭	団員	児 玉 修一
庶 務	寺 川 敏郎	団員	吉 原 浩平

### 【鹿児島市社会福祉協議会情報】

＝鹿児島市社会福祉協議会では“ふるさとの地域福祉”を応援のため「地域福祉ささえ愛基金」への寄付を募集しています＝

皆様からの寄付金は「地域福祉ささえ愛基金」として積み立てられ、次のような事業に有効活用されます。

#### 地域での福祉活動推進のために

- ・ 地域福祉活動計画の推進
- ・ 校区社協活動の支援



#### 未来を担う子どものすこやかな成長のために

- ・ ふれあい子育てサロンの支援
- ・ 在宅重度中度心身障害児への見舞金贈呈



#### 高齢者や障害者の方々のために

- ・ 高齢者への安全杖有償提供
- ・ 介護講習会開催支援・車いす貸出し等



#### ボランティア活動推進のために

- ・ ボランティアセンターの運営他

《チャリティーイベントの益金、会社創立の記念事業を記念した寄付または香典返しに代えての寄付や遺贈(遺言による寄付)など、受け付けています＝寄付控除が受けられます＝》

<寄付についての詳しいお問い合わせは鹿児島市社会福祉協議会企画総務課財務係 ☎099-221-6070まで>



## 「安心安全な町づくりを目指して」

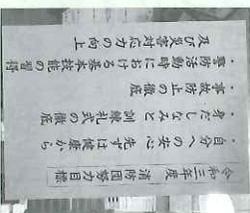
鹿児島市消防団八幡分団分団長 高田忠一

八幡校区の皆さまに於かれましては、新しい年を迎えられ、ますます清祥のこととお慶び申し上げます。日頃から消防団活動にご理解いただき誠にありがとうございます。

私は令和3年4月より八幡分団分団長として活動しております。これまで分団長として長きにわたり活動してこられました今井 嘉彦前分団長の意思を引き継ぎ、しっかりと八幡校区のために活動していきたいと決意しております。

全国的には消防団員が不足している中、お陰様で八幡分団は定員が15名ですが欠員もなく活動しております。

私共団員一同、生まれ育った八幡校区が火災のない安心安全な町となるよう邁進してまいりたいと思います。校区の皆さまには今後とご支援、ご協力を何とぞよろしくお願い申し上げます。



## 八幡分団の活動

八幡分団員は皆それぞれ自分の仕事を持っている中、消火活動の他、各種研修・訓練を始め次の様な活動を日々行っています。

毎月9日には八幡分団舎に全団員集合し定例会を開き、朝礼・各連絡・活動の確認等を行い、その後校区内防火広報巡回を行っています。

- ◎ 消防学校における各教育課程の受講(新入団員、幹部級毎)
- ◎ 研 修: 風水害等・災害救助・地域防災・応急救護・校島爆発応援
- ◎ 訓 練: 水防工法基礎・災害対応向上・警防技能基本・多数傷病者事故対応・原子力総合防災・大規模地震災害対応
- ◎ 技 能 向 上: 応急手当指導員養成講習会・消防団放水競技会・消防演習
- ◎ その他活動: 地域防火広報巡回・年4回火災予防運動広報

